

グループ研究「学生対応・利用者サービスについて」

日時：2007年5月14日

場所：成城大学

記録：佐藤

参加者：大川龍太郎（成城大学） 坂下明子（創価大学） 杉田典子（東海大学）
塚本 明（東洋大学） 水野里永子（文化女子大学） 佐藤庸子（関東学院大学）

内容

活字離れしたといわれている学生たちに身近に図書館を活用してもらうため、図書館として各大学ではどのような取り組みをしているか各校のデータ推移を見ながら討議した。

- ・ 日曜日開館、開館時間などの延長
- ・ ガイダンスを増やした。
 - 教員、院生、学生、新入生などレベルに合わせてのガイダンス
 - 教授会での広報、授業への参入
- ・ 収集方針で見直し
 - 大学としての学部専門図書だけでなく書店に平積みされているような単行書を消耗品で購入
- ・ 数々のイベント企画
 - 学生を交えての企画（学生ブックレビュー）
 - 図書館企画をホームページで紹介